

ERP管理者 養成講座

現行の業務分析 & BIシステム

～ 業務フローの見える化 及び BIシステムの意義を学ぶ ～

株式会社 IT経営コンサルティング



本プレゼン教材に含まれる全てのコンテンツは、(株)IT経営コンサルティングの書面による事前の許諾なしに複製、複製、掲載、転送、配布または二次的著作物作成などのために使用することは、**禁じられています。**

はじめに

基幹システムをERPで再構築する際、現行の業務フローを「見える化」している企業は、極めて少ないのが実情です。

このことが、ERPを用いた基幹システムの再構築に失敗してしまう大きな原因の一つになっています。

なぜ、BIシステムを、ERP向けの講座で解説するのでしょうか。

それは、経営者に、高額な投資をして再構築した新システムの効果を実感してもらうには、BIシステムの構築が必須だからです。

この講座で、業務フローを「見える化」する手法とBIシステムを構築する意義を、しっかり理解してください。



はじめに

※ マウスをクリックすると次ページに進みます。

現行の業務分析

- 業務フローを「見える化」する意義 5
- 最初に取り組む「現行の業務フローの見える化」 6
- 現行の業務分析 – 3つの目的 7
- 現行の業務フローを「見える化」しない弊害 8
- 現状の業務フローを「見える化」する際の留意点 9
- 業務フローの作成ソフトに必要な機能 10

ヒヤリング作業

- ヒヤリング作業の実施手順 11
- ヒヤリング日程表の具体例 13
- ヒヤリング作業の留意点 15

新業務フローの作成

- 新業務フローを作成する目的と作成時期 16
- 新業務フローを作成しない弊害 17

BI システムの構築

- BI システムとは 18
- BI システムを構築する意義 19
- BI システムに必要な機能と活用の前提条件 20
- BI システム開発時の留意点 21

『ERP管理者 養成講座』 全10講座の紹介

おわりに